

【別紙】

2024 年度 第 6 回

みんなの参観日「図工の時間・美術の時間ー子どもの学びー」

参加申込書

学校名	備前市立 伊部小学校		
住所	〒705-0001 備前市伊部 1 4 1 5 - 2		
電話	0 8 6 9 - 6 4 - 2 0 6 9	FAX	0 8 6 9 - 6 4 - 4 7 3 3
E-mail	bzinbe.es@city.bizen.lg.jp		
代表者名	朝倉 健		
ご担当者名	平井 健仁		
授業者名	同上		
参加学年・クラス・人数等（ 7 / 1 時点での状況）	4 年生・2 4 名×2 クラス＝4 8 名		
参加内容	① 授業・題材／コンセプト・概要 等（500～600字程度） 伊部小学校には校内に登り窯があり、全学年の児童が毎年 6 月に「陶芸教室」と題して、備前焼の作品作りに取り組んでいる。その際、本校の特別講師として位置づけられている陶芸家・藤原宏先生をお呼びし、備前焼作りの実演や作り方の説明、助言等をしていただいている。 また、毎年 7 月末に夏休みの職員作業として、藤原先生の指導のもと教職員が協力して「窯だき」を行い、陶芸教室で作成した児童や教職員の作品を焼成している。 今年度の陶芸教室で、4 年生は備前焼のコップを作成した。題材としては「立ち上がれ！ねん土」（3・4 年上）の指導と位置づけ、備前焼の粘土を板状にのぼし、その板に底板や飾り付けをすることで、自分の作りたいコップを作り上げていくことにした。 指導の計画としては、下記の通りを行う。 ①事前鑑賞その 1…焼き物の比較鑑賞（備前焼と他の焼き物、窯変の異なる備前焼） ②事前鑑賞その 2…コップの比較鑑賞（様々な形、備前焼＋他の焼き物やガラス製のもの等） ③アイデアスケッチ…製作後の“使い道”を明確にした上で計画をたてる ④製作（陶芸教室） ⑤振り返り…作品のタイトル、作品に込めた思い ⑥事後鑑賞…焼成した作品の鑑賞		

また、今回の題材は「他教科との関連」および「美術館との連携」の 2 点についても、大きなテーマとして取り扱っている。

まず「他教科との関連」については、社会科・総合的な学習・図工科の 3 教科で備前焼について学習していく。社会科の備前市副読本を用いて、備前焼についての基礎知識を学んだ後、総合的な学習において「備前焼すてき・ひみつ探検隊」と題して一年間かけて備前焼についての探求的な学習を行っていく。その過程で、図工科における備前焼の陶芸教室を行い、社会科や総合的な学習における学びがより深まるようにしていく。

次に「美術館との連携」について、美術品として展示されている備前焼を鑑賞する機会を設ける。本校の児童は身の回りに備前焼がありふれているため、備前焼＝“日用品”という認識であり、他の地域の児童に比べて“美術品”としての認識が薄い傾向にある。備前焼にはこの双方の一面があることを実感するために、県立美術館を実際に訪れ、普段目にはしている“日用品”としての備前焼ではなく“美術品”としての備前焼を鑑賞することで、新たな一面を認識できる機会としたい。

② 題材名
「立ち上がれ！ねん土」（日文 3・4 上）

③ 作品の形状
備前焼のコップ・カップ・グラス・ジョッキ

④ 「子どもの学び」の展示の仕方

- ・ 備前焼の作品×4 8
- ・ ワークシート（アイデアスケッチ、ふり返し）
- ・ 製作過程の写真
 - ① 事前鑑賞（備前焼と他の焼き物と比較鑑賞、窯変の異なる備前焼同士の比較鑑賞）
 - ② 製作時の様子、製作で使う用具
 - ③ 事後鑑賞
 - ④ 実際に使っている様子（学校、家庭）
- ・ 職員による窯たきの様子の写真
- ・ 他教科（社会、総合）との関連を示すもの（教材、写真など）
 - 【社会】副読本、児童のノートのコピー
 - 【総合】児童が見つけた備前焼作品の写真、ロイロノートの画像、ゲストティーチャーによるワークショップの写真、「備前焼祭り」に展示する新聞（仮）

⑤ その他

* 申し込み締め切り：2024 年 7 月 26 日（金）必着（郵送にてお申し込みください）

* 「参加申込書」は、6 月初旬より、岡山県立美術館のホームページよりダウンロードできます。早めに必要な方は、事業担当者（岡本：yuko328642328@gmail.com）にご連絡ください。